

第 9 回

| | | |
|------|--|--|
| 開催日時 | 平成27年10月22日（木）19:00～19:40 | |
| 開催場所 | 茨城町消防庁舎 多目的会議室 | |
| 出席者 | 委 員 | 河西健二, 上田真澄, 中居広行, 横須賀光雄, 関俊治, 廣瀬香織, 小川啓之, 西田弘子, 石毛常己, 大録匡行, 白岩亜厚, 大和田美貴, 海老澤貞雄, 清水勝利, 清水一雄, 鈴木和男, 大久保隆昌 （敬称略, 順不同） |
| | 傍聴者 | 1名 |
| | その他 | 佐藤教育次長 |
| | 事務局 | 学校教育課再編担当 |
| 会議次第 | <p>【議事】</p> <p>1 校旗について（完成品披露）</p> <p>2 スクールバスについて</p> <p>3 その他（次回開催等について）</p> | |

第9回 茨城町立小学校統合準備委員会 会 議 要 旨

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

議事（1）校旗について

委員長

それでは、議事に入ります。

議事（1）校旗について、事務局からの説明を求めます。

前々回の会議において、校旗のデザインを協議により決定していただきましたが、そのデザインに基づいた校旗がこのほど完成したので、皆様にご覧いただきたい。

《校旗披露》

委員長

拍手をもって承認としたい。

—拍手—

議事（２）スクールバスについて

委員長

議事（２）スクールバスについて、事務局からの説明を求めます。

事務局

スクールバスについては、前回の会議において、運行ルートや停留所の位置などを含め、概ね全てのスクールバスの運行概要が確定した。本日は、前回の会議以降の経手等の経過やスクールバス運行業務の入札結果、そして、今後のスケジュール等について報告並びに説明をしたい。

初めに、スクールバスの運行概要について、再確認の意味で簡単におさらいをしたいと思う。まず、スクールバスの導入目的は「通学の安全確保と統合により遠距離通学となる児童の救済」であり、利用対象者は「葵小学校までの通学距離が概ね3km以上の地区（石崎小学区、広浦小学区、長岡第二小学区内の大高地区の一部）から通学する児童で、スクールバスの利用を希望する方」である。

利用人数は、先般実施した利用希望調査の結果により、統合初年度については158名程度を見込んでおり、バスの台数と運行ルート数については、6台のバスで6本のルートを運行する。停留所の数は、現時点では21ヶ所であるが、広浦地区の関係者による協議の結果によっては、広浦小学校前と神塚神社前の停留所が分離され、22ヶ所となる可能性もある。

1日あたりの運行回数、運休日、利用者負担金、遠距離通学補助金の内容は、青葉小学校のスクールバスの内容と同じものである。

次に、事務手続等の経過について報告する。まず、8月の定例教育委員会において、スクールバスの運行規則の一部改正案を議案として上程した。これまでの規則の内容に、葵小学校のスクールバスの運行内容についても追加し、その改正案について承認をいただいた。

その後、9月の町定例議会において、葵小学校のスクールバス運行のための予算案を上程した。これについても原案通り可決されたため、これにより、葵小学校のスクールバス運行が正式に決定するとともに、スクールバスの運行業務をバス会社に委託するための入札の執行が可能となった。

入札は、10月19日に6社の指名競争入札方式で実施した。入札にあたっては、葵小学校のスクールバスの運行エリアを2分割して考え、1つ目は「石崎地区」、2つ目は「広浦・若宮地区」とし、それぞれの地区に3台のスクールバスを運行するものとして、案件を2本に分けて入札を実施した。その結果、「石崎地区」のスクールバスは笠間市の三陸観光に、「広浦・若宮地区」のスクールバスは水戸市のファースト交通に運行を委託することが決定した。今後は、バス会社と連携を図りながら、試運行、運行時刻表の作成、安全面に関わる協議・調整等を行っていきたいと考えている。

最後に、スクールバス運行開始までのスケジュールについて説明する。まず、11月から来年1

月にかけて、石崎小学校の在校生保護者向けの説明会、広浦小学校の在校生保護者向けの説明会、平成28年度新生保護者向けの説明会を3回に分けて実施する予定である。説明会では、統合準備委員会における協議の経過等を報告しながら、スクールバスの運行概要や利用申請までの流れなどについて説明したいと考えている。

そして、スクールバスの利用を希望される方については、利用申請書を説明会会場で配布し、後日、学校に提出していただいたり、郵送により提出していただくなどして、申請書を正式に受付させていただきたいと考えている。利用申請をされた方には、3月上旬に利用許可証を交付するとともに、運行時刻表などの関係書類もあわせて配布したいと考えている。

その後、春休み期間を利用して通学の予行練習を実施し、学校周辺におけるスクールバスの出入りや保護者の車の送迎ルールなどの最終的な点検・確認を行い、新年度からのスクールバス運行に万全を期したいと考えている。

委員長

議事（2）スクールバスについて、事務局からの説明が終わりました。前回の会議以降に行われた事務手続や入札の結果に関する報告、そして、今後のスケジュールに関する説明があったが、皆様から意見・質問等があれば伺いたい。

委員

スクールバス運行業務の落札額はいくらだったのか。

事務局

石崎地区のスクールバス運行業務は年額で1,392万円、広浦・若宮地区のスクールバス運行業務は年額で1,428万円であり、2地区合計の年額は2,820万円であった。

委員

この運行経費に対して、国からの補助金はどの程度もらえるのか。

事務局

運行経費から町の歳入となるスクールバス利用者の負担金を差し引いた額が補助対象経費となり、補助対象経費の20%程度の額が国から交付される。

委員

補助金をもらえる期間は、開校してから5年間なのか。

事務局

はい。ただし、補助金の額については、毎年一定の額が交付されるわけではない。この補助金は、交付要綱では補助対象経費の2分の1以内を交付するとされているが、文部科学省の毎年の予算の範囲内で配分されるものである。そのため、今年度の青葉中学校や青葉小学校のスクールバス運行経費に対して内示されている補助率は、先程説明したように20%程度という状況であるが、毎年一定の補助率に基づく補助金が交付されるとは限らない。

委員

先程の説明で、スクールバスの導入目的は「通学の安全確保と統合により遠距離通学となる児童の救済」とされていた。しかし、今回のように、スクールバスの利用者から利用料を負担してもら

う場合には、「救済」という表現よりも「支援」などの方が適切なのではないか。

元々は、町の意向により、あるいは国の方針により学校の統合が進められたのだから、そのために町や国が必要な支援をするのは当然と言えば当然なのかもしれない。「救済」という表現をすると、国や町が全ての負担をしてくれると受け止められかねないため、表現の問題ではあるが、「支援」などの方が適切だと思う。

事務局

言葉の意味を良く調べて、適切な言葉を探したいと思う。

委員

利用者負担金の問題については、地元においてまだまだ色々な意見が出ているところである。そのため、保護者説明会に際してのお願いとなるが、説明会の際には、利用者負担金が3,000円であることの根拠などを説明のうえ、なるべく多くの保護者の理解を得てほしいと思う。

スクールバスの運行は、青葉中学校と青葉小学校が先行して実施しているわけだが、2校にスクールバスを導入するにあたり、利用者負担金を3,000円と決定した経緯や町の財政状況なども含めて説明してほしい。

事務局

わかりました。

議事（3）その他（次回開催等について）

部会長

専門部会における協議の状況等について報告する。

まず、学校運営部会では、体操服や標準服について決定をした。体操服については、ここに完成したモデルを用意したので、皆様にご覧いただきたい。紺色を基調として、黄色のアクセントカラーを入れた仕上がりになっており、襟には反射材が使用されている。

各教科部会では、カリキュラムの内容や必要な物品等に関する協議・調整をしているところである。事務部会では、細かな物品の調達方法等について、教育委員会と相談しながら調整をしているところである。

P T A部会では、3校のP T A組織を一本化するために、後援会組織や賛助会費などについての検討をしているところである。

また、3校合同の交流活動として、涸沼自然公園での持久走大会を計画した。その日は、午前中に涸沼自然公園で持久走大会を行い、午後に公園の高台にある広場でレクレーションなどを楽しみたいと考えている。

次に、小学校校舎の改築工事の状況について説明する。校舎の改築工事は、1期工事と2期工事に分けて行われているのだが、1期工事では校舎の西側半分の工事を行い、2期工事では校舎の東側半分の工事を行う予定である。現在は1期工事中で、特別教室のフロアの面積を縮めて、学校統合に際して不足する普通教室の数を増やすための工事を行っている。現在のところ子供達は、プレハブの仮設校舎と既存校舎の東側半分に居住しているが、1期工事は11月12日に終了するため、

11月12日と13日に校舎西側から校舎東側へ居住スペースを移すための引越しをした後、2期工事が開始されるという状況である。

事務局

本日の会議では、校旗の完成品の披露、そしてスクールバスの入札結果や今後の保護者説明会の予定等について報告をさせていただきました。また、専門部会における協議の内容等についても、専門部会長から報告していただいた。

次回の会議は、12月に開催したいと考えている。葵小学校の校歌の制作は、マシコタツロウさんに依頼をしているところであるが、完成時期については、子供達の練習時間等を考慮して、年内に完成していただけるようお願いしてある。したがって、次回の会議では、完成した校歌を皆様にお聴きいただき、感想等をお聞かせいただければと考えている。また、その頃には、各学校の閉校式典や葵小学校の開校式典等のスケジュールについてもあわせて報告ができるのではないかと考えている。